

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	鳴門駅周辺整備事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系			根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		市街地			
施策	2	活気に満ちた市街地の形成			
基本事業	1	市街地の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門駅及び周辺施設利用者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の公共交通の発着点である鳴門駅周辺の一体的な整備を行い、駅周辺の交通環境及び利便性の向上を図るとともに、魅力的な景観づくりを進める。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	西側歩道整備工事等を実施するとともに、次年度ロータリー工事に向けて設計を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		鳴門駅周辺整備進捗状況	基本計画・自歩道整備実施計画策定	西側自歩道完成 ロータリー実施計画策定	竣工	/	/	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	JR四国と協定を締結し、駅西側歩道。駐輪場の整備を実施し、29年度歩道橋撤去工事に支障する部分以外の施工は完了した。 また駅前ロータリー改修の実施設計を策定した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標	1						
	2						
成果指標	鳴門駅周辺整備進捗状況	基本計画・自歩道整備実施計画策定	西側自歩道完成 ロータリー実施計画策定	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)	100.0		-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	63,250	0	47,200	0	9,980	120,430
		補正予算額	△ 12,030	0	15,400	0	15,698	19,068
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	51,220	0	62,600	0	25,678	139,498
		決算額	11,440	0	22,600	0	10,527	44,567
		繰越額	40,000	0	40,000	0	4,000	84,000
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	0.0	7,133	51,700			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：鳴門駅周辺整備事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	3,993	44,567	184,045		
	うち一般財源	3,993	10,527	24,045		
	人件費	4,115	7,133	7,133		
	総事業費	8,108	51,700	191,178		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		歩道橋撤去の前段として、駅西側歩道整備、駐輪場整備が完成し、バリアフリー化、回遊性の向上に寄与した。
	効率性	B:概ね効率的だった		JR協議に時間を要したが、土木課と連携し、年度内に竣工できた。
②成果に対する評価	指標名	鳴門駅周辺整備進捗状況		駅西側歩道・駐輪場の施工が完了し、目標を達成している。
	目標	西側自歩道完成ロータリー実施計画策定	0	
	実績	西側自歩道完成ロータリー実施計画策定	0	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		事業としては目標を達成したが、JRとの協議等に課題が残った。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	JR四国との協議には時間を要するので、それを踏まえた事業設計が必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	JR四国との協定締結後、歩道橋撤去、駅西駐輪場残部の施工、既存駐輪場の撤去、駅前駐輪場の施工。 駅前ロータリーの竣工。			
	H30年度				